



Digital Send
PDF Checker

Acrobat Pro DC用

プリフライトプラグイン

ユーザーマニュアル

新聞・雑誌共通



Digital Send

株式会社デジタルSEND

Ver.1.9

改版履歴

版数	改版日	内容
1.0版	2020/03/15	1.0版として作成
1.1版	2020/04/20	1.1版として更新
1.2版	2020/04/28	1.2版として更新
1.3版	2020/06/02	誤字訂正
1.4版	2020/07/29	プリフライトプラグインのバージョン表記の説明を追加
1.5版	2020/11/13	「6. チェック項目について」を追加 その他表記修正
1.6版	2021/05/14	「1. 動作環境」を更新 「2. 動作フロー」を追加 「4. プリフライト (ノーマライズ・オプションあり)」を追加 「8. ノーマライズ機能について」を追加 「9. TAC値のノーマライズにおける方式について」を追加 「10. フォルダー／ファイル名の使用禁止文字について」を追加 その他表記修正
1.7版	2022/01/11	N-PDF ver.1.3(2022)対応 「1. 動作環境」を更新 「6. チェック項目について」の項目を追加／削除 その他表記修正
1.8版	2022/07/20	「1. 動作環境」を更新 「6. チェック項目について」を修正 「7. 【新聞のみ】新聞サイズ・偏倍許容設定」を追加 「11. 【Windowsのみ】Acrobat Pro DCがフリーズする場合」を追加 その他表記修正
1.9版	2023/11/30	「1. 動作環境」を更新 「3. プリフライト (ノーマライズ・オプションなし)」および「4. プリフライト (ノーマライズ・オプションあり)」に、Acrobat 新UIについての記述を追加 「12. 【macOS13以降のみ】ドロップレットのセキュリティ解除について」を追加

目次

1. 動作環境.....	1
2. 動作フロー.....	2
3. プリフライト(ノーマライズ・オプションなし).....	3
4. プリフライト(ノーマライズ・オプションあり).....	6
5. 【雑誌のみ】セーフティ表示.....	11
6. チェック項目について.....	12
7. 【新聞のみ】新聞サイズ・偏倍許容設定.....	13
8. ノーマライズ機能について.....	15
8.1 TAC値(インク総量)調整.....	16
8.2 モノクロ変換.....	16
8.3 透明効果統合.....	16
9. TAC値のノーマライズにおける方式について.....	17
10. フォルダー／ファイル名の使用禁止文字について.....	18
11. 【Windowsのみ】Acrobat Pro DCがフリーズする場合.....	19
12. 【macOS13以降のみ】ドロップレットのセキュリティ解除について.....	20

1. 動作環境

• Windows

Windows 10 (64bit、32bit) 日本語版 Acrobat Pro DC 2022 (32bit) の最終バージョン

※Acrobat Pro DC 2022 (64bit) には対応していません。

• macOS

macOS 10.14 日本語版 Acrobat Pro DC 2022の最終バージョン

macOS 10.15 日本語版 Acrobat Pro DC 2023の最終バージョン

macOS 11 日本語版 Acrobat Pro DC 2023の最終バージョン

macOS 12 日本語版 Acrobat Pro DC 2023の最終バージョン

macOS 13 日本語版 Acrobat Pro DC 2023の最終バージョン

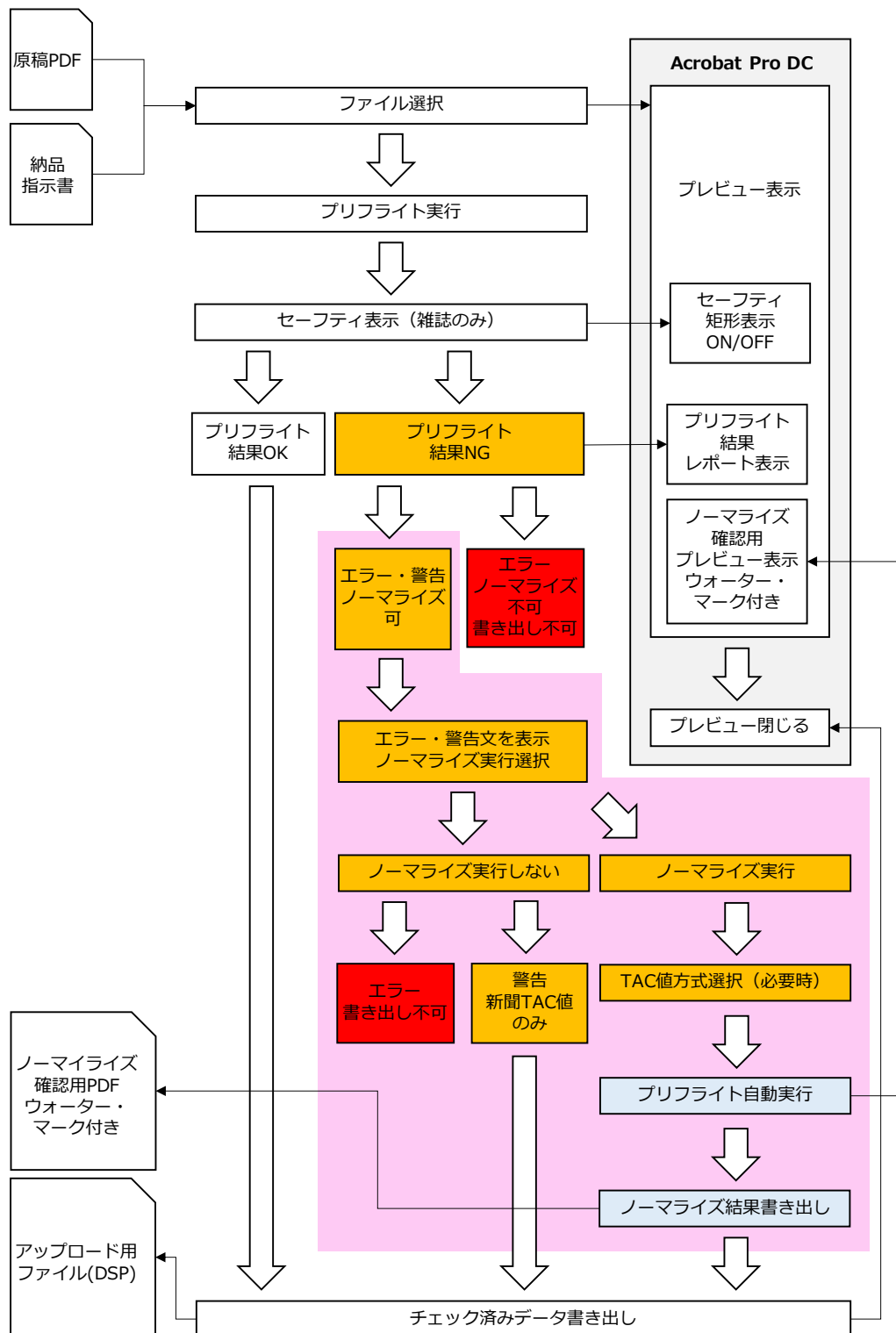
macOS 14 日本語版 Acrobat Pro DC 2023の最終バージョン

Acrobat Pro DCの動作保証している最終バージョン (Acrobat DC Classic(2017)を含む以前のバージョン / Adobe Acrobat Reader DCでは動作しません。)

※Acrobat Pro DCの最終バージョン、アップデート方法についてはアドビ システムズ株式会社のホームページをご参照ください

2. 動作フロー

プリフライトを実行すると、以下のように動作します。



※ノーマライズ機能を利用するためには別途オプション契約が必要です。

3. プリフライト(ノーマライズ・オプションなし)

- 1 Digital Send Web オンライン送稿システムにログインし、「原稿納品」から、送稿したい案件を開きます。

※Webページの操作方法については、「Digital Send Web ユーザーマニュアル」を参照してください。

- 2 Webページの「納品指示書ダウンロード」ボタンをクリックし、納品指示書を保存します。

納品指示書ダウンロード

※納品指示書のファイル名称は【納品枠ID10桁】_【媒体紙(誌)名】_【原稿名称】.DSTです。

例：0000000001_媒体紙名_原稿名称.DST

- 3 プリフライトプラグインをインストール済みのAcrobat Pro DCを開き、「プラグイン (Acrobat 新UIが有効な場合)」⇒「DigitalSend (mac) / デジタルセンド (Windows)」⇒「プリフライト」を選択します。



「プリフライト」の右側は、プリフライトプラグインのバージョン表記となります。

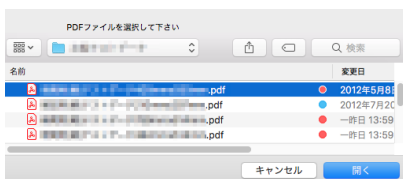
※以下、macOS版をもとに解説しますが、Windows版も基本的な操作に変わりはありません。


- 4 プリフライトプラグインのウィンドウが開きます。




「ファイル選択」ボタンをクリックします。

- 5 プリフライトしたいPDFファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。




6 

ダウンロードした納品指示書ファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

7 


納品指示書の内容に応じて、【新聞／雑誌】【カラー／モノクロ】のうち、適切なプリフライトプロファイルが自動選択されます。「プリフライト実行」ボタンをクリックします。

8 


原稿サイズに問題があった場合には、「原稿サイズエラー／警告」ダイアログが表示されます。

【新聞の場合】
設定によって異なります。詳しくは「7.【新聞のみ】新聞サイズ・偏倍許容設定」を参照してください。

【雑誌の場合】
送稿できません。原稿サイズを確認してください。

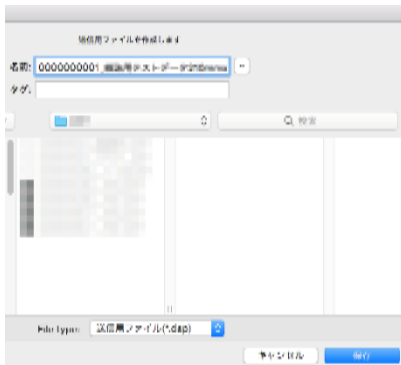
9 

プリフライト結果に問題がなければ、「プリフライト成功」ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。

10 

「チェック済みデータ書き出し」ボタンをクリックします。
※プリフライトで異常を検知した場合には書き出しできません。

11



保存する場所を決定し、「保存」ボタンをクリックします。

【ご注意】

保存先に空き容量があること、ファイル書き込み権限があることをご確認ください。

12



DSチェック済みデータが保存されます。

※DSチェック済みデータのファイル名称は【納品枠ID10桁】_【元ファイル名】.dspです。

例：0000000001_元ファイル名.dsp

【ご注意】

ファイル名は絶対に変更しないでください。送稿できなくなります。

13



Webページの「原稿ファイルをドロップ」にDSチェック済みデータをドロップするか、「原稿ファイルを選択」ボタンをクリックし、DSチェック済みデータをセットします。

14



Webページの「制作／製版オンライン送稿」ボタンをクリックし、DSチェック済みデータを送稿します。

4. プリフライト(ノーマライズ・オプションあり)

ノーマライズ機能は、「TAC値(インク総量)調整」「モノクロ変換」「透明効果統合」の3項目の最適化処理を行います。

この章では、上記3項目の問題をノーマライズするときの操作を記載しています。

ノーマライズの詳細については「8. ノーマライズ機能について」および「9. TAC値のノーマライズにおける方式について」を参照してください。

ノーマライズ・オプションを利用している場合でも、ノーマライズが不要なケースでは「3. プリフライト(ノーマライズ・オプションなし)」の操作となります。

※ノーマライズ機能を利用するためには別途オプション契約が必要です。

- 1 Digital Send Web オンライン送稿システムにログインし、「原稿納品」から、送稿したい案件を開きます。

※Webページの操作方法については、「Digital Send Web ユーザーマニュアル」を参照してください。

- 2 Webページの「納品指示書ダウンロード」ボタンをクリックし、納品指示書を保存します。

納品指示書ダウンロード

※納品指示書のファイル名称は【納品枠ID10桁】_【媒体紙(誌)名】_【原稿名称】.DSTです。

例：0000000001_媒体紙名_原稿名称.DST

- 3 プリフライトプラグインをインストール済みのAcrobat Pro DCを開き、「プラグイン(Acrobat 新UIが有効な場合)」⇒「DigitalSend(mac)/デジタルSEND(Windows)」⇒「プリフライト」を選択します。



「プリフライト」の右側は、プリフライトプラグインのバージョン表記となります。

※以下、macOS版をもとに解説しますが、Windows版も基本的な操作に変わりはありません。

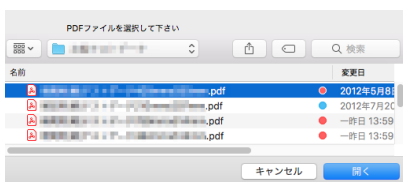
4



プリフライトプラグインのウィンドウが開きます。

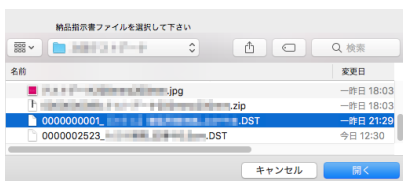
「ファイル選択」ボタンをクリックします。

5



プリフライトしたいPDFファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

6



ダウンロードした納品指示書ファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

7



納品指示書の内容に応じて、【新聞／雑誌】【カラー／モノクロ】のうち、適切なプリフライトプロファイルが自動選択されます。

「プリフライト実行」ボタンをクリックします。

8

原稿サイズに問題があった場合には、「原稿サイズエラー／警告」ダイアログが表示されます。



【新聞の場合】

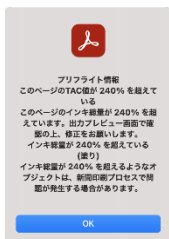
設定によって異なります。詳しくは「7.【新聞のみ】新聞サイズ・偏倍許容設定」を参照してください。

【雑誌の場合】

送稿できません。原稿サイズを確認してください。

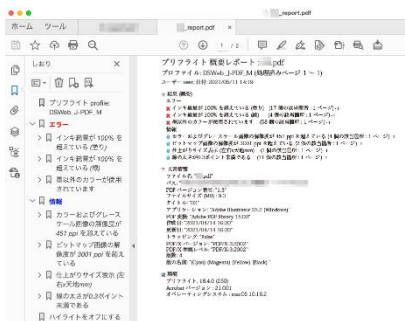
「OK」ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。

9



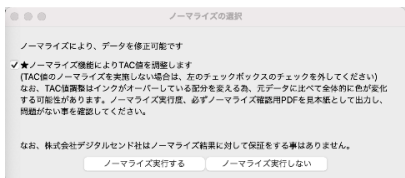
プリフライト完了後に、エラー／警告ダイアログおよび、プリフライト概要レポートが表示されます。

「OK」ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。



※「TAC値(インク総量)調整」「モノクロ変換」「透明効果統合」以外のエラーが含まれている場合にはノーマライズできません。制作アプリケーションで該当箇所を修正し、再度プリフライトを行ってください。

10



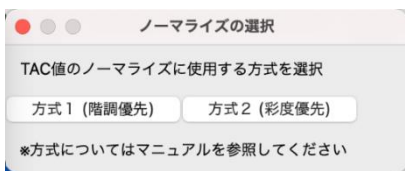
【新聞のTAC値警告が含まれる場合のみ】

TAC値のノーマライズを行わない場合には、チェックボックスの「✓」を外してください。

「ノーマライズ実行する」をクリックします。

※ノーマライズを実行しない場合には、「ノーマライズ実行しない」またはウィンドウの「クローズ」ボタンをクリックします。

11



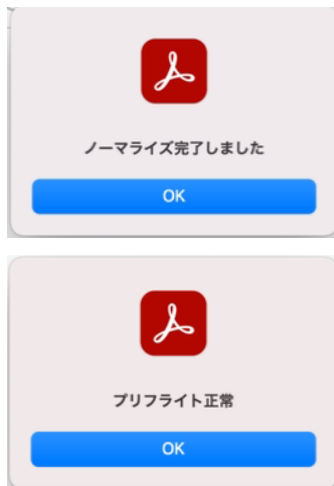
【TAC値のノーマライズを行う場合のみ】

「方式1(階調優先)」または「方式2(彩度優先)」をクリックします。

※1 ノーマライズ方式の詳細については、「9. TAC値のノーマライズにおける方式について」を参照してください。

※2 ノーマライズを実行しない場合には、ウィンドウの「クローズ」ボタンをクリックします。

12



ノーマライズおよびプリフライト結果に問題がなければ、図のようなダイアログが表示されます。

「OK」ボタンを2回クリックして、ダイアログを閉じます。

13



「ノーマライズ結果書き出し」ボタンをクリックします。

14



保存する場所を決定し、「保存」ボタンをクリックします。

【ご注意】

保存先に空き容量があること、ファイル書き込み権限があることをご確認ください。

15



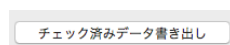
ノーマライズ確認用PDFが保存されます。

※ノーマライズ確認用PDFのファイル名称はノーマライズ確認用_【元ファイル名】.pdfです。

16

ノーマライズ確認用PDFを見本紙として出力し、問題がないことを確認します。

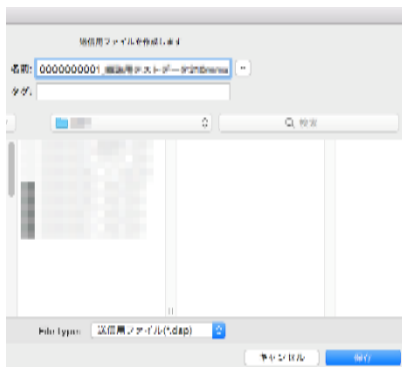
17



「チェック済みデータ書き出し」ボタンをクリックします。

※プリフライトで異常を検知した場合には書き出しできません。

18



保存する場所を決定し、「保存」ボタンをクリックします。

【ご注意】

保存先に空き容量があること、ファイル書き込み権限があることをご確認ください。

19



DSチェック済みデータが保存されます。

※DSチェック済みデータのファイル名称は【納品枠ID10桁】_【元ファイル名】.dspです。

例：0000000001_元ファイル名.dsp

【ご注意】

ファイル名は絶対に変更しないでください。送稿できなくなります。

20



Webページの「原稿ファイルをドロップ」にDSチェック済みデータをドロップするか、「原稿ファイルを選択」ボタンをクリックし、DSチェック済みデータをセットします。

21



Webページの「制作／製版オンライン送信」ボタンをクリックし、DSチェック済みデータを送稿します。

5. 【雑誌のみ】セーフティ表示

1



Acrobat Pro DCにPDF原稿が表示されているときに、「セーフティ表示」ボタンをクリックします。

2



セーフティを示す枠が表示されます。重要な情報や、文字が収まっていることを確認します。

「セーフティ非表示」ボタンをクリックすると、表示が消えます。

※セーフティ表示した場合、展開中のPDF原稿サイズに対するセーフティを表示します。納品指示書の媒体情報サイズと異なりますのでご注意ください。

※複数媒体でセーフティが異なる場合は、最大サイズが表示されます。たとえば、媒体1のセーフティが10mmで、媒体2のセーフティが20mmだった場合、20mm（仕上がりから見て最も内側）のセーフティのみ表示されます。

6. チェック項目について

PDF Checkerのチェック項目は、N-PDF（新聞）およびJ-PDF（雑誌）のプリフライトプロファイルをベースとしており、それに加えて以下の独自チェックを行います。

【新聞】

チェック項目	内容	結果
原稿サイズ	納品指示書内で指定された納品指示サイズに対して、PDF原稿サイズが天地・左右の設定値以上異なる場合 (7.【新聞のみ】新聞サイズ・偏倍許容設定を参照)	警告 または エラー
	納品指示書内で指定された納品指示サイズに対して、PDF原稿の偏倍率が設定値以上異なる場合 (7.【新聞のみ】新聞サイズ・偏倍許容設定を参照)	警告 または エラー
パス数/制御点数	パス数が20万を超える場合	警告
	制御点数が60万を超える場合	警告
カラー原稿ではない	カラー原稿が1色で作成されている場合	警告

※1. 結果が警告の場合は出力可能です。エラーの場合には出力できません。

※2. 原稿サイズが許容範囲外でも「書き出し可能」に設定されているとき、原稿サイズが納品指示書内で指定された納品指示サイズと大きく異なる場合でも、Digital Send Webにアップロードは可能ですが、どの程度の差異を許容するかについては取引先にご確認ください。

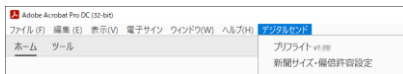
【雑誌】

チェック項目	内容	結果
原稿サイズ	納品指示書内で指定された納品指示サイズに対して、PDF原稿サイズが天地 $\pm 0.7\text{mm}$ または、左右 $\pm 0.7\text{mm}$ 以上異なる場合	エラー
塗り足し	納品指示書内で指定された塗り足しと、PDF原稿の塗り足しが異なる場合	エラー
パス数/制御点数	パス数が20万を超える場合	警告
	制御点数が60万を超える場合	警告
カラー原稿ではない	カラー原稿が1色で作成されている場合	警告
セーフティ	目視による確認 (5.【雑誌のみ】セーフティ表示を参照)	—

※結果が警告の場合は出力可能です。エラーの場合には出力できません。

7. 【新聞のみ】新聞サイズ・偏倍許容設定

1

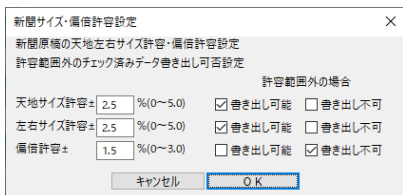


プリフライトプラグインをインストール済みのAcrobat Pro DCを開き、「DigitalSend (mac) / デジタルセンド (Windows) 」⇒「新聞サイズ・偏倍許容設定」を選択します。

2

「新聞サイズ・偏倍許容設定」のウィンドウが開きます。

この設定は、同一PC内の全ユーザーに適用されます。(プリフライトプラグインを、OSのログオンユーザーを切り替えて使用している場合)



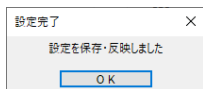
天地・左右サイズ許容を0～5.0%の範囲で入力してください。※
偏倍許容を0～3.0%の範囲で入力してください。※

なお、天地・左右サイズ許容の設定にかかわらず、偏倍許容の推奨値は3.0%です。

プリフライトで許容範囲外になった場合の、書き出し可能／不可を選択してください。

設定が完了したら、「OK」ボタンをクリックします。

3



「OK」ボタンをクリックします。

設定は即時反映です。Acrobat Pro DCおよび、プラグインの再起動は必要ありません。

※天地・左右サイズは、PDF内ではポイント(pt)という単位で扱われ、Acrobatの表示やDSWebの媒体仕様ではミリ(mm)が使用されています。ポイント⇔ミリ変換では必ず誤差が発生するので、プリフライトプラグインでは 0.005mmの誤差を許容して、サイズを比較します。

また、上記の誤差の関係から、偏倍許容は小数点以下第2位を四捨五入して計算します。

許容設定の初期値は以下の通りです。

項目	許容値	書き出し
天地サイズ許容±	5.0%	可能
左右サイズ許容±	5.0%	可能
偏倍許容±	3.0%	可能

天地・左右サイズ許容および偏倍許容の例は以下の通りです。

天地サイズ許容

納品指示サイズ天地	PDF原稿サイズ天地	許容値	結果
100mm	100mm	5.0%	OK (0%)
100mm	105mm	5.0%	OK (+5.0%)
100mm	94mm	5.0%	NG (-6.0%)

左右サイズ許容

納品指示サイズ左右	PDF原稿サイズ左右	許容値	結果
100mm	100mm	1.0%	OK (0%)
100mm	101mm	1.0%	OK (+1.0%)
100mm	98mm	1.0%	NG (-2.0%)

偏倍許容

納品指示サイズ 天地×左右	PDF原稿サイズ 天地×左右	許容値	結果
100mm×100mm	100mm×100mm	3.0%	OK (0%,0%の差=0%)
100mm×100mm	102mm×99mm	3.0%	OK (+2.0%,-1.0%の差=3.0%)
100mm×100mm	98mm×102mm	3.0%	NG (-2%,2%の差=4.0%)

偏倍許容とは PDF原稿サイズが納品指示サイズと一致しない場合の、天地サイズと左右サイズの比率です。上記「偏倍許容」の2行目を例とすると、PDF原稿の天地サイズは102.0%、左右サイズは99.0%となり、天地サイズと左右サイズの差は102.0%-99.0%=3.0%ですので、許容値3.0%の設定内となります。

※PDF原稿のプリフライトを実行したとき、サイズ・偏倍以外にエラーはなく、チェック済みデータ書き出しが行えない場合は、制作アプリケーションに戻って、設定した許容範囲に収まるようにPDF原稿サイズを調整してください。

8. ノーマライズ機能について

ノーマライズ機能は、「TAC値（インク総量）調整」「モノクロ変換」「透明効果統合」の、3項目の最適化処理を行います。ノーマライズ実行後には必ずノーマライズ確認用PDFを見本紙として出力し、問題がないことを確認してください。

※ノーマライズ機能を利用するためには別途オプション契約が必要です。

ノーマライズの組み合わせは最大2種類で、以下の通りとなります。

色	モノクロ変換	透明効果統合	TAC値調整
カラー原稿	×	○	○
モノクロ原稿	○	○	×

「ノーマライズの選択」組み合わせメッセージ例

ノーマライズの選択

ノーマライズにより、データを修正可能です

★透明効果を統合します。
データが変更されるのでノーマライズ実行後、必ずノーマライズ確認用PDFを見本紙として出力し、問題がないことを確認してください。

★ノーマライズ機能により TAC 値を調整します。
(TAC値のノーマライズを実施しない場合は、左のチェックボックスのチェックを外してください)
なお、TAC 値調整はインクがオーバーしている配分を変える為、元データに比べて全体的に色が変わる可能性があります。ノーマライズ実行後、必ずノーマライズ確認用PDFを見本紙として出力し、問題がないことを確認してください。

なお株式会社デジタルセンド社はノーマライズ結果に対して保証する事はありません。

透明効果統合とTAC値調整

ノーマライズの選択

ノーマライズにより、データを修正可能です

★カラーデータをモノクロに変換します。
変換後は色相が失われるのでノーマライズ実行後、必ずノーマライズ確認用PDFを見本紙として出力し、問題がないことを確認してください。

★透明効果を統合します。
データが変更されるのでノーマライズ実行後、必ずノーマライズ確認用PDFを見本紙として出力し、問題がないことを確認してください。

なお株式会社デジタルセンド社はノーマライズ結果に対して保証する事はありません。

モノクロ変換と透明効果統合

8.1 TAC値(インク総量)調整

TAC値とは、CMYK各色のインク総量になります。最大で各色100% (計400%) となり、400%の濃度で印刷するとインクの盛りすぎによる不具合 (インク乾燥・定着不足、裏移り) が生じるため、雑誌と新聞ではおのおのに上限値が存在します。

TAC値上限値は以下の通りとなります。

種別	TAC値上限値
雑誌	320%
新聞	240%

ノーマライズの対象は、CMYK画像およびCMYKオブジェクトのみとなります。(RGB/特色/レジストレーションカラーは対象外)

8.2 モノクロ変換

モノクロ変換のノーマライズ対象は、カラーが含まれる広告データかつ、納品指示書 (DST) の色がモノクロ指定の場合のみであり、変換対象はCMYK画像およびCMYKオブジェクトのみとなります。(RGB/特色/レジストレーションカラーは対象外)

原稿データ	納品指示書	ノーマライズ	変換対象
カラーを含む	モノクロ指定	可能	CMYK画像/CMYKオブジェクト
	カラー指定	-	-

8.3 透明効果統合

透明効果のノーマライズ対象は、PDF/X-4かつ、透明効果を含んでいる広告データが対象となります。

PDF規格	透明効果	ノーマライズ
PDF/X-4	あり	可能
PDF/X-4	なし	不可

9. TAC値のノーマライズにおける方式について

TAC値オーバーした画像やオブジェクトが含まれるPDF原稿の場合、ノーマライズを実行可能です。実行時に「方式1（階調優先）」または「方式2（彩度優先）」を選択してください。

※ノーマライズ機能を利用するためには別途オプション契約が必要です。

方式の違いは以下の通りです。

方式1（階調優先）	方式2（彩度優先）
階調を優先します。 グラデーションの連続階調をできるだけ保持しますが、彩度（色の鮮やかさ）が失われる場合があります。	彩度を優先します。 彩度（色の鮮やかさ）をできるだけ保持しますが、グラデーションの連続階調がトーンジャンプする場合があります。

TAC値オーバーした画像やオブジェクトに応じて、方式を選択してください。

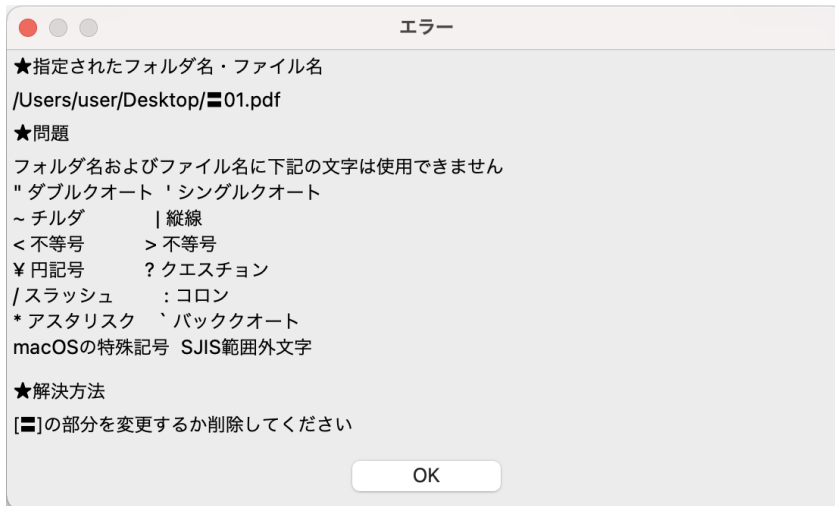
ノーマライズ実行後には必ずノーマライズ確認用PDFを見本紙として出力し、問題がないことを確認してください。

なお、方式の違いによるノーマライズ結果の差異は、雑誌原稿（TAC値=320%）より、新聞原稿（TAC値=240%）のほうが顕著に表れる傾向にあります。

10. フォルダー／ファイル名の使用禁止文字について

フォルダー名およびPDFファイル名に使用禁止文字が使用されている場合、以下のようなダイアログが表示され、該当文字部分が「=」文字で表示されます。

該当部分の文字を変更するか、削除してから再度プリフライトを実行してください。

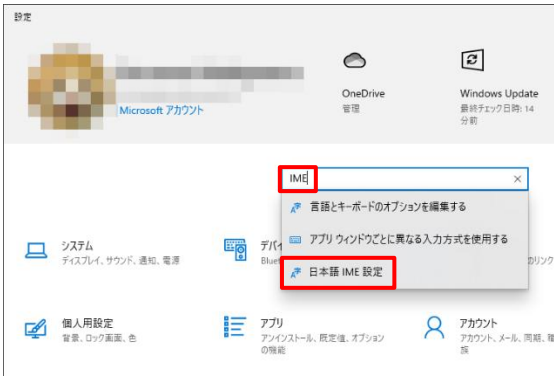


11.【Windowsのみ】Acrobat Pro DCがフリーズする場合

Acrobat Pro DCで、キー入力操作を行ったときにフリーズする場合には、以下の設定を行ってください。

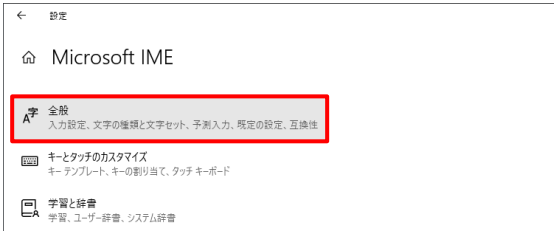
※Windows 10 Pro バージョン21H2における設定例です。バージョンなどによっては設定方法が異なる可能性があります。

- 1

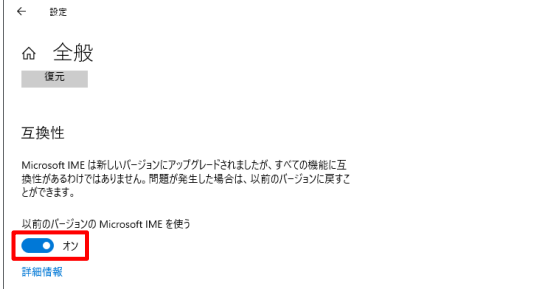


Windowsの「スタート」メニュー⇒「設定」を開きます。

「設定の検索」に「IME」を入力し、「日本語 IME 設定」をクリックします。
- 2



「全般」をクリックします。
- 3



「以前のバージョンの Microsoft IME を使う」を「オン」にします。

12.【macOS13以降のみ】ドロップレットのセキュリティ解除について

macOS13以降ではOSのセキュリティ機能により、ドロップレット（プリフライトに必要なアクションをアプリケーション化したもの）の、セキュリティ解除が必要です。

プラグインのインストール／アップデート後、プラグインを起動したときに以下のようなダイアログが表示されます。「OK」をクリック後、ドロップレットのセキュリティ解除を行ってください。



また、ドロップレットのセキュリティ解除を行わずにプリフライトを実行したときに以下のようなダイアログが表示されます。「キャンセル」をクリック後、ドロップレットのセキュリティ解除を行ってください。



ドロップレットのセキュリティ解除については、「[D S W e b プリフライトプラグインインストール／アップデートマニュアル](#)」を参照してください。